

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童保護費

事業名 障害児通所支援事業所安全対策支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 事業所指導係 電話番号：058-272-1111(内3490)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 16,560 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	16,560	16,020	0	0	0	0	0	0	540
決定額	16,560	16,020	0	0	0	0	0	0	540

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

「こどものバス送迎・安全徹底プラン～バス送迎に当たっての安全管理の徹底に関する緊急対策～」に基づき、障害児通所支援事業所に係る送迎用バスの安全装置改修への支援等を推進し、子どもの安心・安全を確保する。

(2) 事業内容

- ・送迎用バスへの安全装置の装備支援 【基準額】18万円／1台
- ・登園管理システムの導入支援【基準額】70万円／1事業所
- ・ICTを活用要した子どもの見守り支援(安全対策に資する機器等の導入支援)
【基準額】20万円／1事業所

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・送迎用バスへの安全装置の装備支援：（補助率：国10/10）
 - ・登園管理システムの導入支援（補助率：国3/5、県1/5、事業者1/5）
 - ・ICTを活用要した子どもの見守り支援（補助率：国3/5、県1/5、事業者1/5）
- （令和5年度と同様の事業を令和6年度においても子ども家庭庁にて概算要求中（児童虐待防止等対策総合支援事業費補助金））

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	16,560	支給要件を満たす事業者に対する補助金
合計	16,560	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

令和6年度当初予算を財源として実施する「こどもの安心・安全対策支援パッケージ」の推進であり、県主体が妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 障害児通所支援事業所に安全装置（ブザー）等を補助することにより、障害児の安心、安全を早急に確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

緊急的に行う支援であり、指標設定等は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	障害児通所支援事業所においても送迎バスを利用しており、補助する必要性は高い
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 安全装置等の補助については、国からの財政支援が不可欠。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も国の安心、安全対策を注視する必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】